

1 題材名

『もっと明るく もっと便利に』 <3年生 社会科 歴史的学習>
～道具によって変わった わたしたちの生活～

2 授業のねらい

- ①暮らしの中で使われてきた身近な昔の道具は、時代と共にどのように変化してきたのかを考えます。
- ②学習を分かりやすく進めるために、昔の道具の中の「灯り」や「アイロン」など具体的な道具を取り上げて、時代の変化と共にその道具が私たちの生活にどのような影響を及ぼしてきたかを話し合います。
- ③可能ならば、昔の道具を使ってみる疑似体験学習をしてみたいと思います。

3 指導計画上の位置付け

- ◇社会科指導計画 4「市の様子と人々のうつりかわり」と関連します。
- ◇3年副読本 P86～P89「道具とくらしのうつりかわり」に対応する1時間の学習です。

4 予想される授業の流れと指導資料

- ①当館4階展示物「戦前のくらし（1930～1940年頃）」「戦後のくらし（1960～1970年頃）」の写真や道具カードを黒板に並べて貼り、2つの時代と現在の道具と何が違うかを見つけて話し合います。
- ②江戸時代末期からの時代を100年以上前（幕末～大正）・90年前（昭和初期～戦前）・60年前（高度経済成長）・30年前（政令市）・現在の5つに区切った年表を黒板に貼り、①の道具カードを児童が意見を出し合って年表に張り付けます。年表を完成させながら気づいたことを話し合います。
 - * 燃料材料（炭・油・電気）が変わった、道具の材質が変わった、ほとんど電化された等
- ③生活の変化を具体的に分かりやすく捉えるために「照明器具」を取り上げます。ランプ・電灯・蛍光灯・LEDの道具カードを提示して、以下のようなことを話し合います。
 - * ランプは油が燃料なので日常生活は暗く、油の補充も手間がかかる
 - * 電気を使った電灯や蛍光灯で日常生活が明るくなり、特に人々の夜の活動が活発になった
 - * LEDは環境にやさしい灯り
- ④時代の変化と道具の変遷を追う中で、日常生活が便利になったという視点だけではなく、道具の進化によって起きた日常生活の変化（夜の生活や大量消費）についても話し合いたいと思います。

<活用する資料>

- ◎3年生副読本「わたしたちの千葉市」のP88年表
- ◎「様々な昔の道具の写真資料」
- ◎当館5階「戦前のくらし」「戦後のくらし」の展示物の写真や昔の道具カード
- ◎本館収蔵品のむかしの道具

5 指導上の留意点、その他

- ◇この学習では、何よりも児童が昔の道具をよく見て、触って実感することが大切なので、当館の展示物や所蔵している昔の道具を、学校の要望により持参して資料として活用することは可能です。
- ◇小学校で初めて学習する歴史の学習なので、学習にわかりやすく取り組むために、可能ならば体験的学習（例 理科室で行燈を点灯）を行うことも可能で、より楽しい学習にしたいと思います。
- ◇道具の進化で得た生活上の便利さと共に、不便な生活の中でも人々が行っていた生活の工夫（油をを大切に使っていた、道具を大事にして修理して使った）にもふれられるようにしたいと思います。